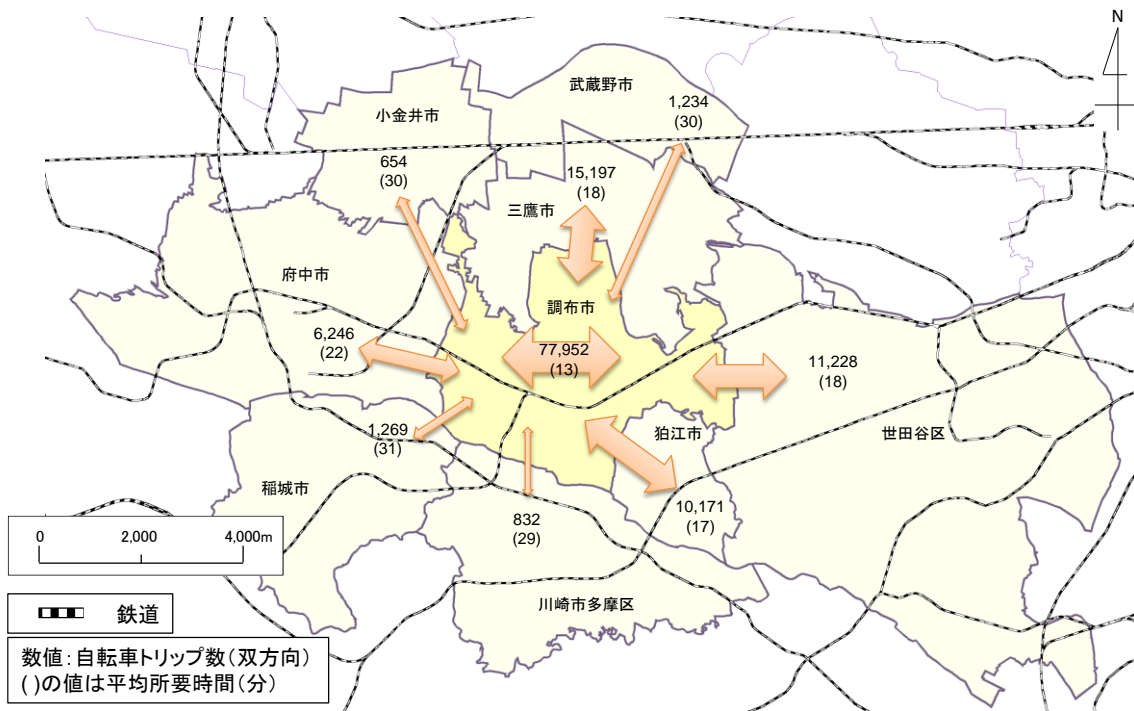


(3) 移動の状況

調布市の中での移動が7.8万トリップとなっています。調布市内と調布市外の移動では、三鷹市が1.5万トリップ、世田谷区が1.1万トリップ、狛江市が1.0万トリップとなっています。



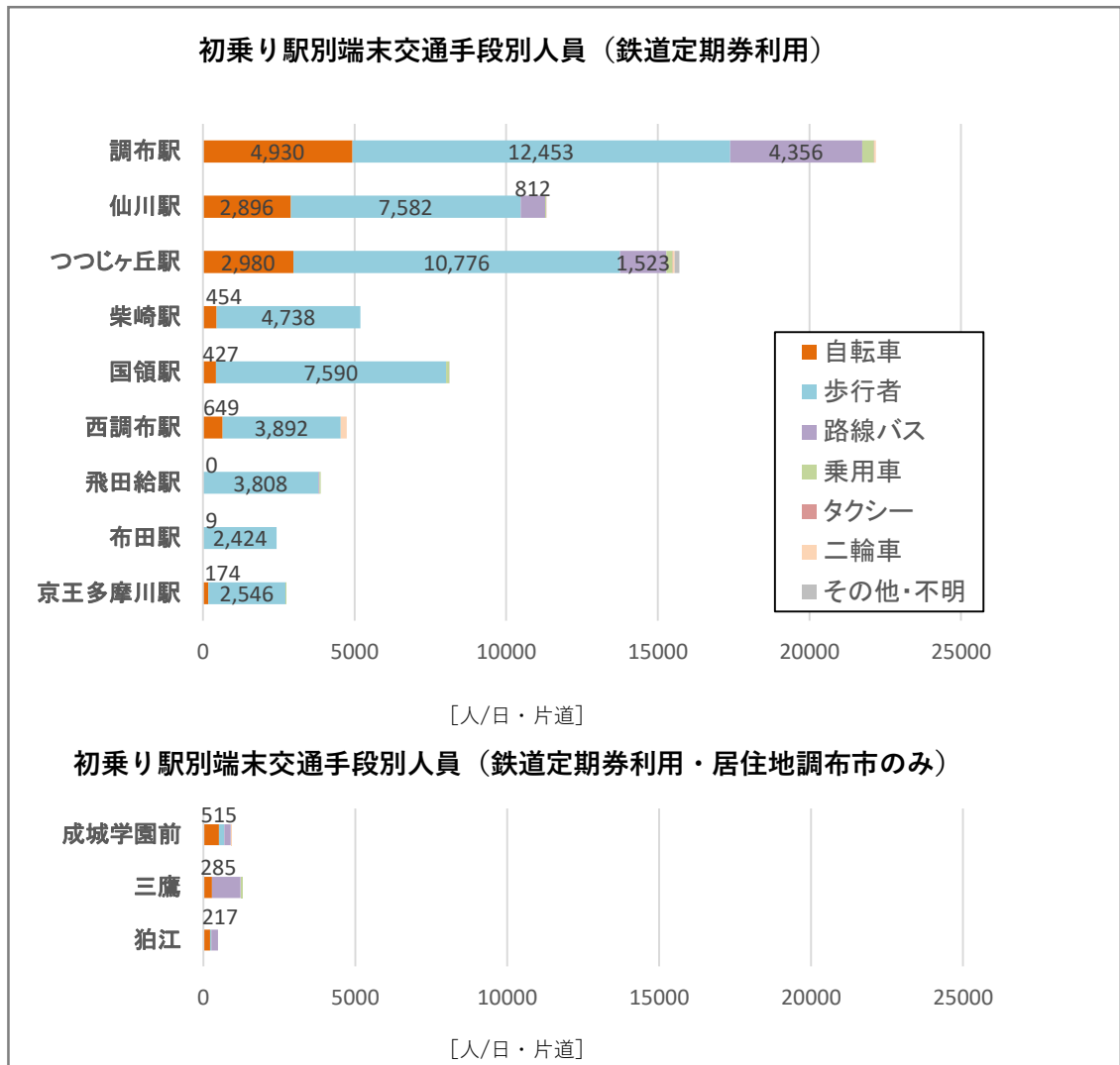
資料：東京都市圏パーソントリップ調査（各該当年）より作成

図 2-6 調布市と周辺市区間の移動状況

(4) 鉄道端末の交通手段

大都市交通センサス（平成 27 年）の駅別端末交通手段（自転車）の人員数を見ると、調布駅が 4.9 千人で最も多く、次いでつつじヶ丘駅が 3.0 千人、仙川駅が 2.9 千人、西調布駅が 0.6 千人となっています。

調布市外の駅別端末交通手段（自転車）の人員数（居住地調布市）を見ると、成城学園前駅が 5 百人、三鷹駅が 3 百人、狛江駅が 2 百人となっています。



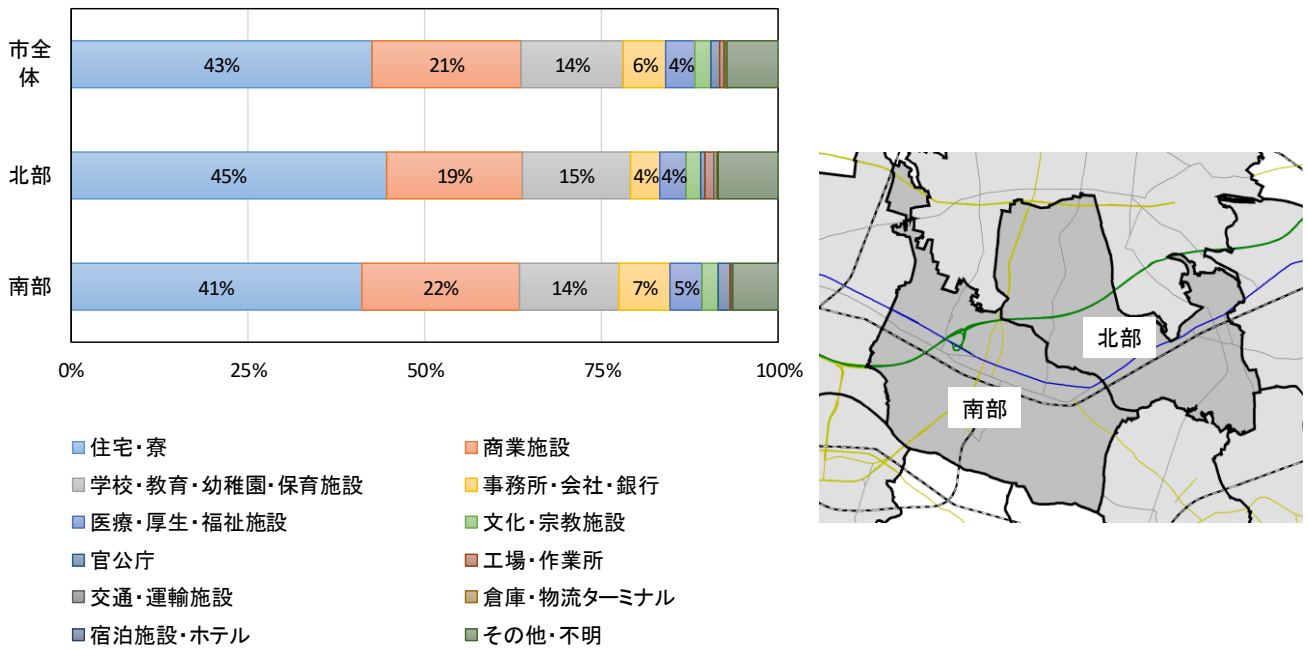
資料：大都市交通センサス（平成 27 年）端末交通手段別人員表より作成

図 2-7 初乗り駅別端末交通手段別人員

2.2.2 自転車利用者の発着施設

(1) 発着施設

東京都市圏パーソントリップ調査の自転車利用者の発着施設構成比を見ると、「住宅・寮」が43%で最も高く、次いで「商業施設」が21%、「学校・教育・幼稚園・保育施設」が14%となっています。

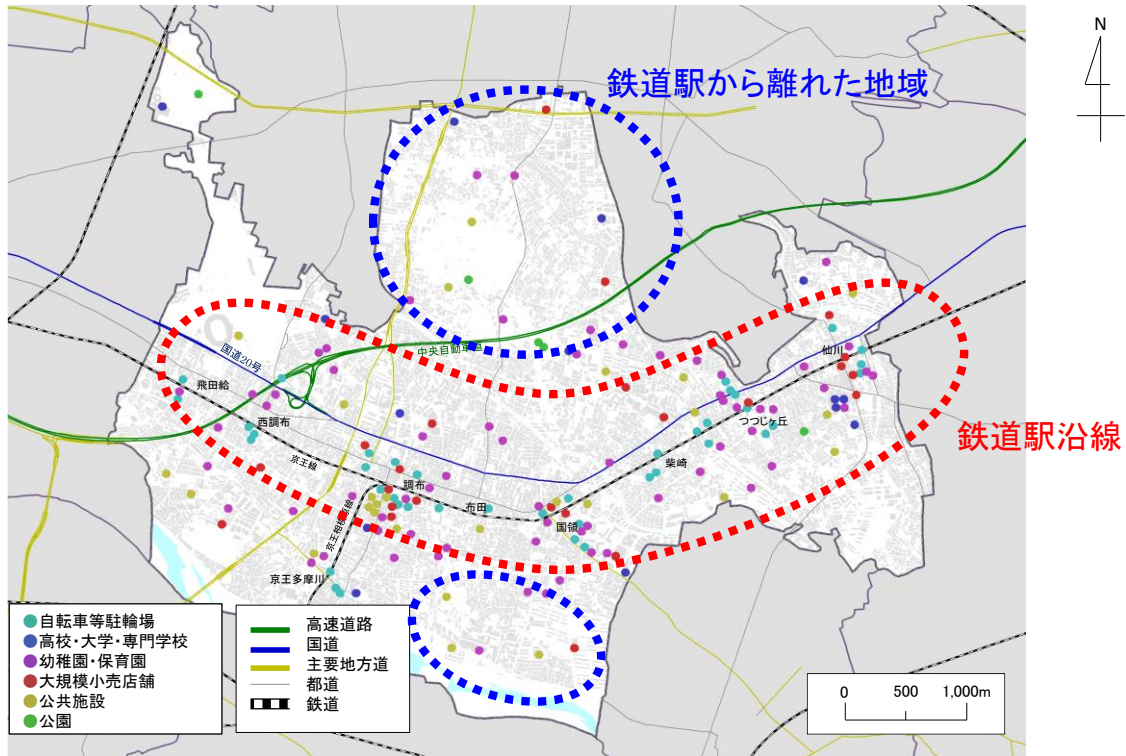


資料：東京都市圏パーソントリップ調査（平成 20 年）より作成

図 2-8 計画基本ゾーン別発着施設構成比（自転車）

(2) 発着施設の分布

高校・大学・専門学校，幼稚園・保育園，大規模小売店舗，公共施設等の自転車発着施設は，鉄道沿線に多く集積していますが，鉄道駅から離れた場所にも一定程度の施設立地が見られます。



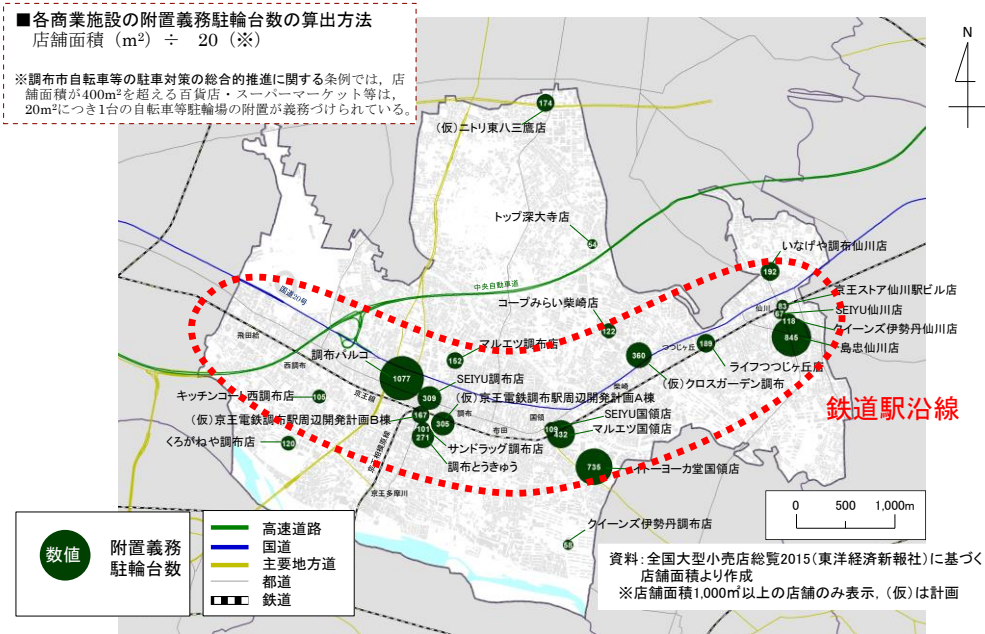
資料：自転車等駐輪場：調布市交通対策課ホームページより作成
 幼稚園，保育園，公共施設，公園：調布市ホームページ「施設案内」より作成
 高校・大学・専門学校：各校ホームページより作成
 大規模小売店舗：全国大型小売店総覧 2015（東洋経済新報社）より作成
 （以後の施設分布も同様）

図 2-9 調布市内の施設分布

(3) 自転車利用が多く想定される施設

1) 商業施設

自転車利用が多く想定される商業施設を把握するため、調布市自転車等の駐車対策の総合的推進に関する条例に基づき附置義務駐輪場台数を算出しました(図 2-10)。調布パルコ、島忠仙川店、イトーヨーカ堂国領店等、附置義務駐輪場台数の多い施設は主に鉄道沿線に分布しています。

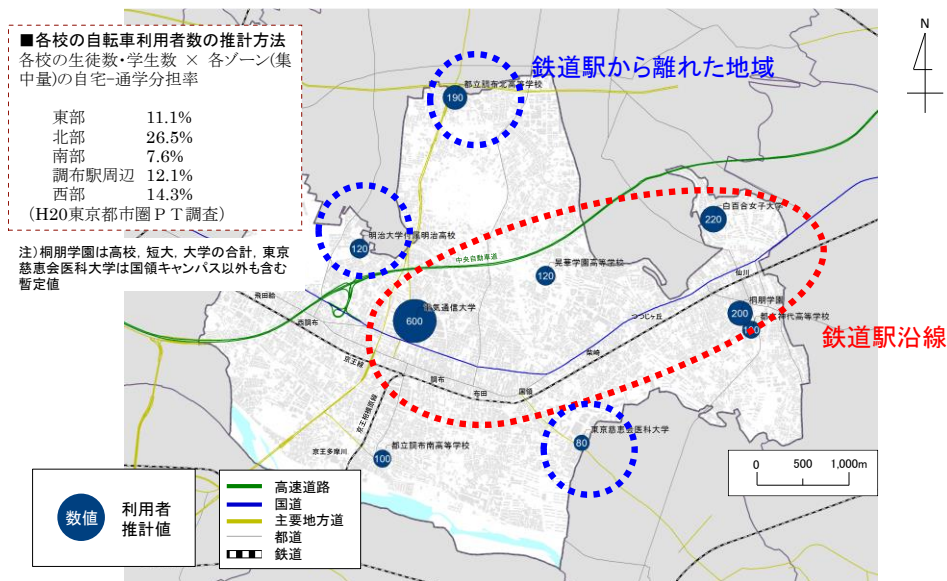


資料：全国大型小売店総覧 2015（東洋経済新報社）に基づく店舗面積より作成

図 2-10 附置義務駐輪場台数の多い商業施設

2) 高等学校・大学

調布市内の高等学校と大学の生徒数・学生数とパーソントリップ調査における自宅発着通学目的の分担率から各校の自転車利用者数を推計しました。自転車利用が多く想定される学校は鉄道沿線の他、鉄道駅から離れた場所にも見られます。

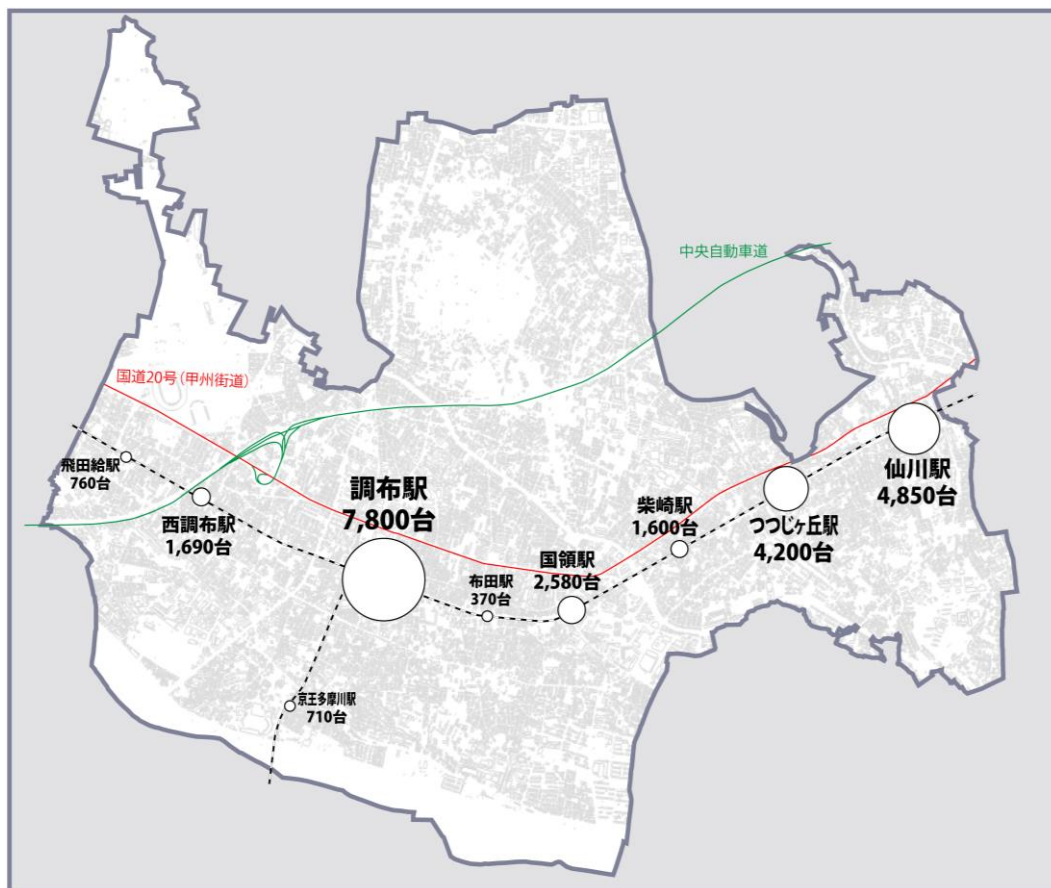


資料：公立高校（平成 27 年度東京都公立学校一覧），私立高校・短大・大学（平成 28 年 7 月現在各校ホームページ）より作成

図 2-11 自転車利用が多く想定される高校・大学

2.2.3 自転車等駐車場の収容能力

調布市自転車等実施計画（平成 20 年 3 月）において示された，平成 37 年度（2025 年度）の自転車等駐車施設設置必要台数を見てみると，調布駅が 7,800 台で最も多く，次いで仙川駅（4,850 台），つつじヶ丘駅（4,200 台），国領駅（2,580 台）と続いています。



資料：調布市自転車等実施計画（平成 20 年 3 月）より作成

図 2-12 自転車等駐車場の設置必要台数（平成 37（2025）年度）

2.2.4 自転車事故の発生状況

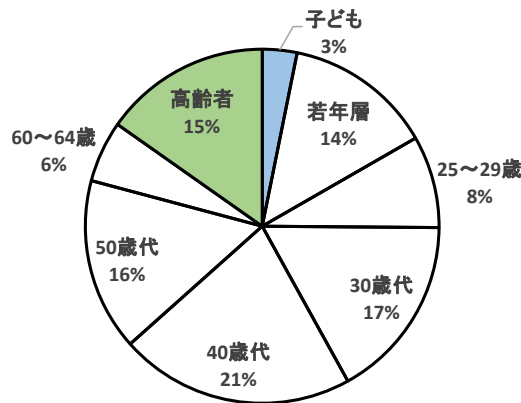
平成 29 年の調布市における交通事故発生総件数は 413 件であり、そのうち自転車が関与した事故が 158 件発生しました。自転車関与率は 38.3%であり、東京都（島部を除く）の 33.4%よりも高い数値となっています。

また、高齢者・子供の事故がおおよそ 2 割を占めています。

表 2-1 平成 29 年交通事故発生件数

	交通事故発生総件数	自転車関与事故件数	自転車関与率
東京都(島部除く)	32,750	10,947	33.4%
調布市	413	158	38.3%

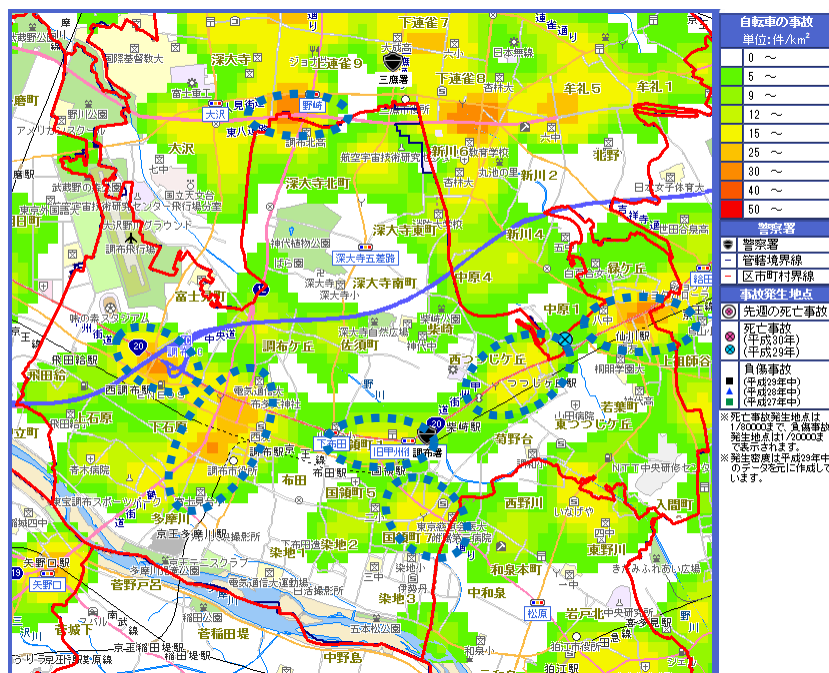
資料：警視庁資料より作成



資料：警視庁資料より作成

図 2-13 調布市内の年齢別交通事故発生件数(平成 29 年)

自転車の交通事故発生分布（平成 29 年）を見ると、調布駅周辺や仙川駅周辺で交通事故の発生が多くなっています。その他、甲州街道や旧甲州街道、鶴川街道、東八道路、狛江通りなど、幹線道路沿線で自転車の交通事故が多く発生する傾向にあります。



資料：警視庁交通事故発生マップより作成

図 2-14 自転車の交通事故分布（平成 29 年）

2.2.5 自転車利用の多い路線と危険箇所

(1) 自転車利用の多い路線

下図の路線別通行台数は、主に駅周辺の自転車等駐車場で行ったアンケート調査における「普段よく利用するルート」を路線単位で集計したもので、調布駅、つつじヶ丘駅、仙川駅、西調布駅へ向かう南北方向の利用が多くなっており、東西方向では、品川通りの利用が多くなっています。

さらに、駅から離れた地域での自転車利用実態把握のために行った追加アンケート調査により、東八道路や武蔵境通り、鶴川街道、都道 120 号線の利用も多いことが明らかになり、これらの路線を強調表示しています。

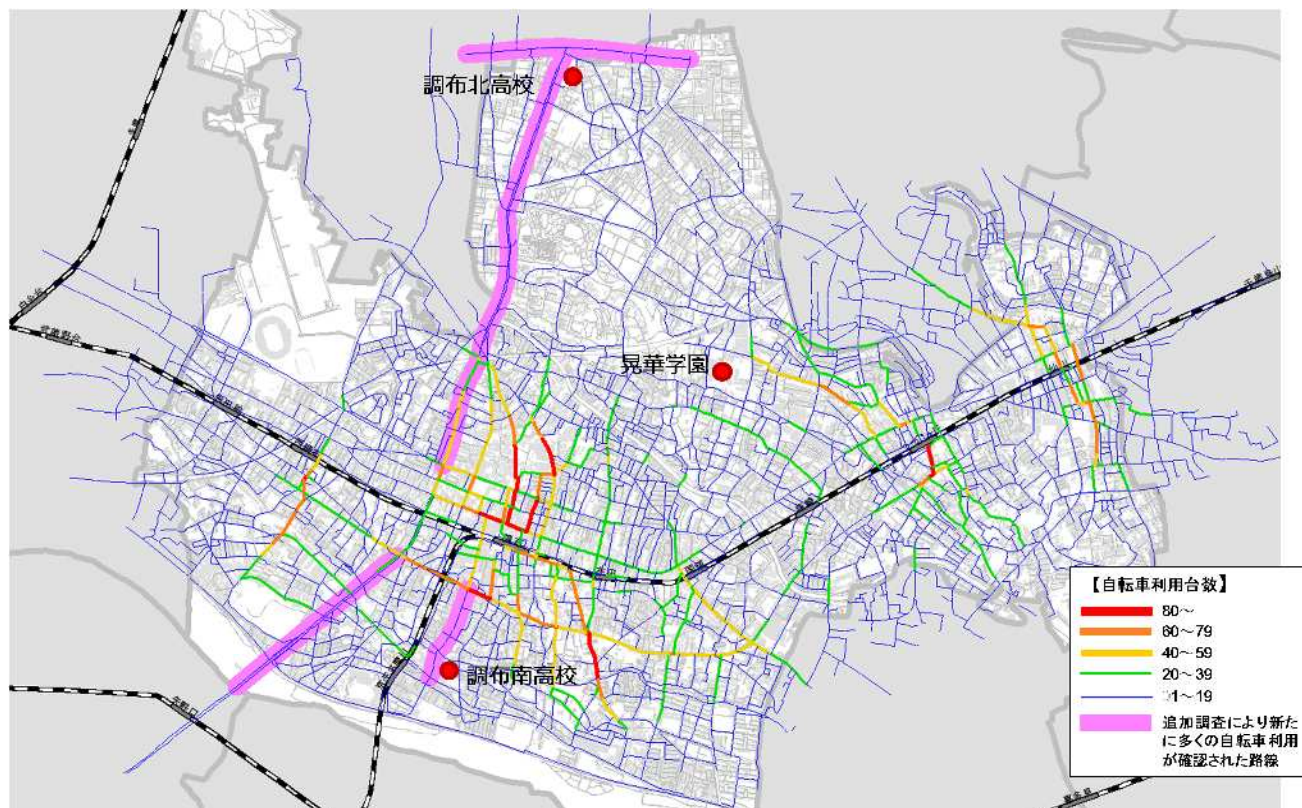


図 2-15 普段よく利用するルート（追加調査分含む）

(2) 危険と感じる箇所

アンケート調査における「危険と感じる場所」を路線単位で集計すると、つつじヶ丘交差点北側、旧甲州街道調布駅付近、小島町交差点～北多摩病院前付近、椿地蔵前交差点南側、等が多くなっています。

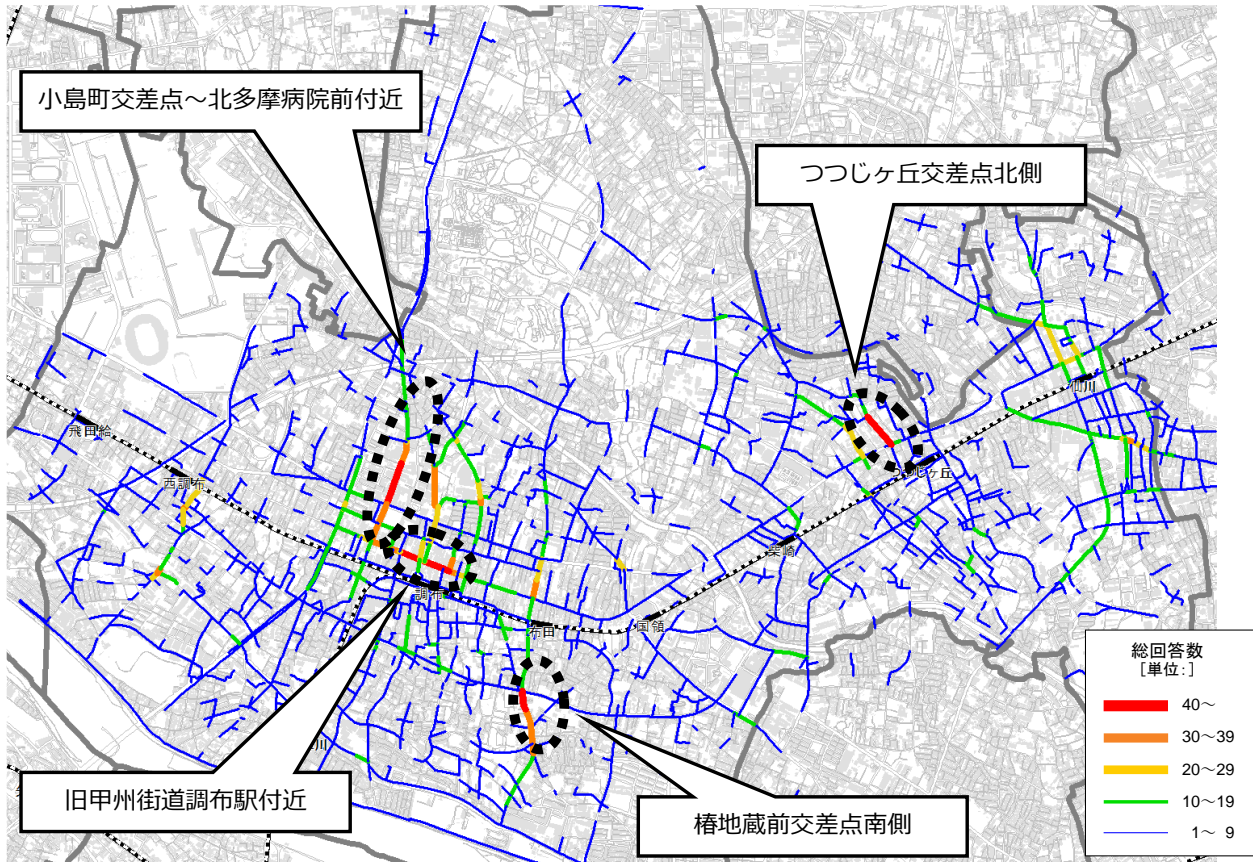


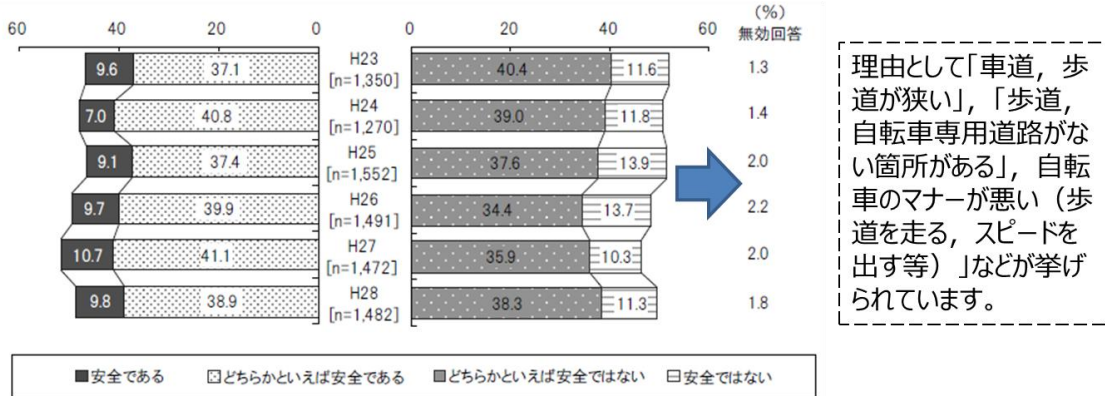
図 2-16 危険の指摘が多い箇所

2.2.6 市民のニーズ

(1) 市民アンケート

市民意識調査に回答した半数が、普段利用する道路が「安全ではない」または「どちらかといえば安全でない」と思っています。

問32) あなたは、普段利用する市内の道路が安全だと思いますか。

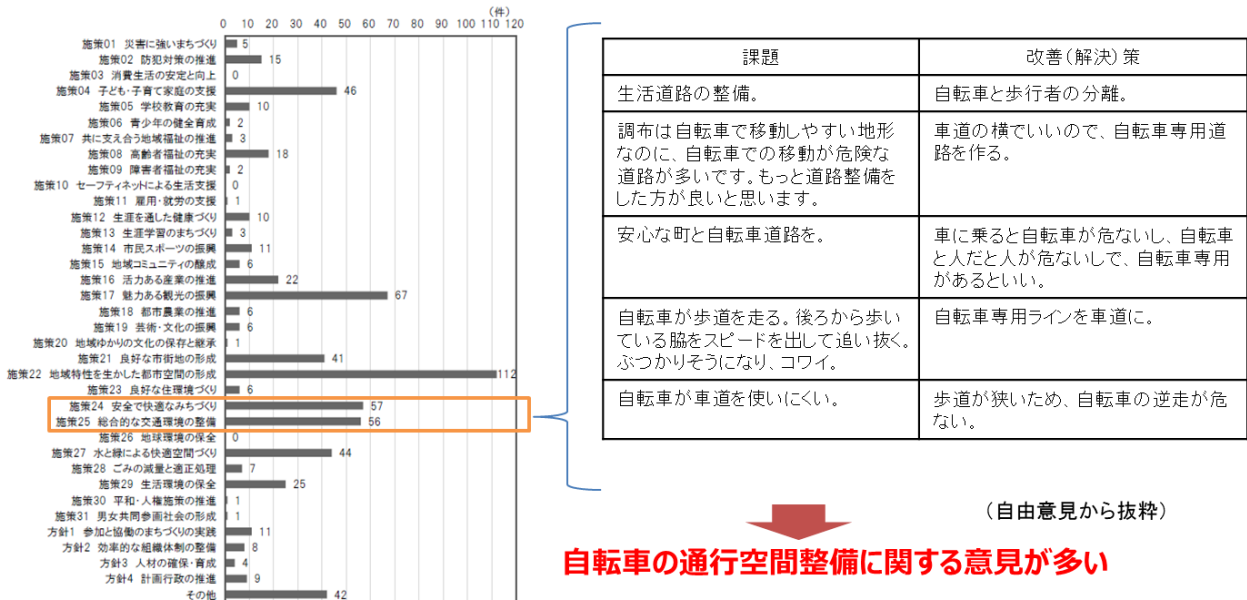


資料：調布市民意識調査報告書平成28年度版より作成

図 2-17 市民アンケート（道路の安全性）

市民意識調査(平成28年)の自由意見については、1,482人中379人の回答者から517件の意見が寄せられました。

調布市基本計画(平成27~平成30年度)の政策体系に基づいて分類すると、安全で快適なみちづくりに関する意見が57件、総合的な交通環境の整備に関する意見が56件でした。



資料：調布市民意識調査報告書平成28年度版より作成

図 2-18 市民アンケート（自由意見）